

荻窪病院だより

新型コロナウイルス感染症(当院 2020年2月~12月)

PCR検査数 **4996件** (職員検査を除く)

COVID-19陽性入院患者数 **189名**



理事長・病院長 村井 信二 むらいしんじ

病院長より新年のご挨拶を申し上げます

新型コロナウイルス感染症治療1年経過を迎え

明けまして
おめでとーいございます

昨年来の新型コロナウイルス感染拡大により、本年は、なんとも晴れ晴れとしない幕開けとなつてしまいました。しかしながら、アメリカやヨーロッパにおきましては、新型コロナウイルスに対するワクチン接種がすでに開始されており、日本においても、今春には、ワクチン接種が開始される見通しであります。

我々が、昨年2月から開始した新

型コロナウイルス肺炎に対する治療も、もうすぐ1年が経過します。全ての季節を職員がひとつになつて経験し、乗り切つてきたことは、私どもにとつて、非常に大きな力になると考えます。

大変なご迷惑・ご心配をおかけした院内クラスターも無事終息に

また、昨年11月に荻窪病院内において、新型コロナウイルス感染症が発生した際には、多方面にわたり、大変なご迷惑とご心配をおかけしました事、心よりお詫び申し上げます。

おかげさまで、杉並保健所との協議において、12月22日に終息宣言を出すことができ、一般救急を始め、CCUネットワーク^{※1}、急性大動脈スーパernetワーク^{※2}の受け入れを再開することができ、現在では、全ての病院機能を通常の運営に戻しております。



この1年を通して、多くの皆様から、励ましのエールやご支援を頂戴し、我々は、何度でも大変勇気づけられました。心から感謝申し上げます。この1年の経験を生かし、平穏な日々が得られるまで、皆様と協力して、全力で頑張りたいと決意しております。本年もどうぞ変わらせず、御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年 元旦

荻窪病院 村井信二

※1は心筋梗塞などの急性心血管疾患、※2は大動脈解離など緊急大動脈疾患の患者さんを、速やかに専門施設に搬送できるよう、組織された救急医療ネットワーク

荻窪病院は
地域医療に
貢献します

理念

患者さんへ安心で信頼される医療を提供します。
職員へやり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

基本方針

- 1.急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
- 2.個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
- 3.豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
- 4.経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。





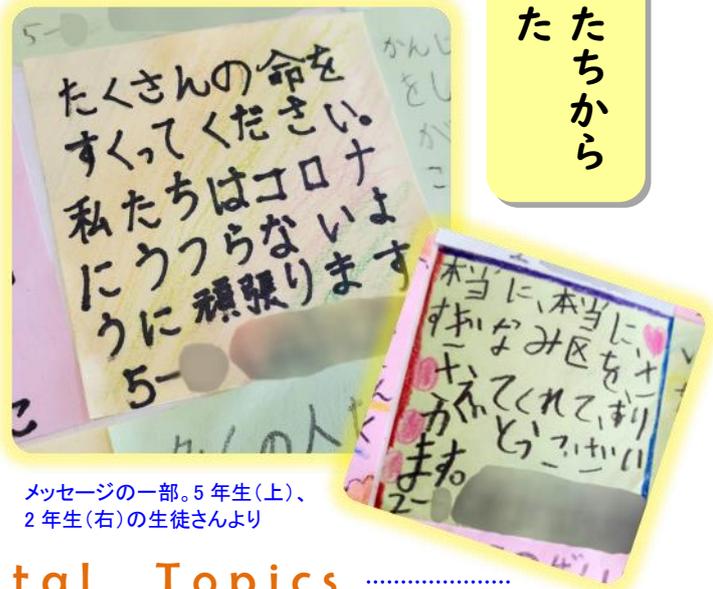
12月22日(火)、近隣の桃井第一小学校の生徒さん775名と教職員の方々から、新型コロナウイルス感染症に最前線で対応している荻窪病院の職員へ、感謝の気持ちと応援のメッセージを頂きました。桃井第一小学校は当院から最も近い小学校で、災害時には区の震災救援所となり、緊急医療救護

桃井第一小学校の生徒さんたちから
応援メッセージを頂きました



メッセージに見入るスタッフ

所となる当院にとって地域における密接な連携小学校となります。取りまとめをしてくれた保健委員会の生徒さんたちによると、全校生徒775名のメッセージを集め、きれいに模造紙にはるのは、とても大変だったそう。元気で心のこもったメッセージは職員の休憩スペースに掲示され、職員に大きなパワーを与えてくれています。



メッセージの一部。5年生(上)、2年生(右)の生徒さんより



メッセージを受け取る村井病院長

Ogikubo Hospital Topics

人命救助により
循環器内科 井上医長が
感謝状を授与されました

10月初旬夕刻、西荻窪駅前で倒れていた男性に遭遇した井上医師はAEDと救急車の手配を指示し、心臓マッサージを開始。AEDを備えていた西荻窪駅の駅員さんと共に、心肺停止状態だった男性の救命にあたり、人命救助に貢献しました。救命のプロである循環器内科医の井上医師は、救援が必要な場に出会うことが多いそう。当院ではAED操作をはじめとした研修を定期的に行い、医師のみならず全職員の救命への意識を高めています。

21年1月より
訪問リハビリテーション室を
開設いたします

通院が難しい患者さんが、自宅でリハビリテーションを受けられるよう、荻窪病院は21年1月に「訪問リハビリテーション室」を開設し、サービス提供を開始いたしました。このサービスは医師が作成する計画書に基づき行われるもので、当院を退院した患者さんをはじめ、リハビリテーションが必要な患者さんに提供されます。ご希望の方は、まずはかかりつけの先生やケアマネジャーにご相談ください。

荻窪消防署の鈴木署長から
感謝状を授与されました



訪問リハビリテーション室のスタッフたち。在宅医療が必要な患者さんにも対応できるよう、さらにスキルを磨いて、地域医療に貢献していきたい」と語る中野雄一朗マネージャー(中央)

